

乳腺外科のトラスツズマブ(ハーセプチン)療法を
受けられる

説明医師

P 1 / 1

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日 ()		月 日 ()	
経過	治療当日 (治療前)		治療当日 (治療後)	
目標	治療に対する不安を表出できる		副作用が最小限で治療を終了することができる 心不全のリスクについて認識できる 心身共に安定した状態でトラスツズマブ(ハーセプチン)療法を受けることができる	
検査	身長、体重を測ります			
食事	制限はありません		朝食後、退院となります	
	朝食は自宅で			
処置	 体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります		点滴前に留置針を挿入します	
	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)		退院時にリストバンドを外します	
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください		 以下の点滴を行います (約3時間半) 1) ハーセプチン 2) 生理食塩液	
行動	 制限ありません			
	 シャワーできます			
説明	 医師より説明 (外来または入院時) ・抗体療法について		 医師より説明 ・退院後について	
	 看護師より説明 ・入院生活について		 看護師より説明 ・療養生活について	
	 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について			

*入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

*入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

35-Z51-1
2020.9.29 版

*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

京都第一赤十字病院